

審査項目、審査内容及び配点

審査項目	審査内容	配点
1. 外国語指導講師の安定的・継続的配置	配置校及び訪問校への講師の配置に関し、安定的・継続的に配属することができる体制が整っているか。また、講師が日本に定着して働けるよう策を講じているか。	15
2. 外国語教育受託実績	過去2年間に地方自治体等からの外国語指導の受託実績を有しているか。また公教育（特に小中学校）における外国語指導業務委託の実績をどのくらい有しているか。	5
3. 外国語指導講師の採用体制	外国語指導講師の採用体制、採用基準、採用方法が確立されており、適切な人員を派遣できる体制が整っているか。また、万が一欠員が生じた場合の補充体制は整っているか。	10
4. 外国語指導講師の研修体制	講師の採用から配置先で業務を行うまで、また、業務を開始してから継続的な研修を行う体制が確保されているか。	10
5. 外国語指導講師の管理体制	講師の勤務状況の把握方法、勤務評価の方法、守秘義務の順守、会社との連絡体制など労務管理体制は適切か。	5
6. 法令遵守体制及び講師の安全面の確保	請負業務方式と労働者派遣事業の違いを理解し、業務委託方式による指示命令を実施しているか。また、事故や災害等に関する管理体制や保障体制は適切か。	5
7. 外国語指導業務に関する理解度と独自性	外国語指導のカリキュラムが学習指導要領の内容に準拠しているか。また、独自の教材を有しており、かつ指導法について独自性のある方法を有しているか。	15

8. 早期イマージョン教育のノウハウ及び提案	小学校低学年を対象とした早期イマージョン講師の派遣に際し、これまでの実績及び新たな提案等により、児童が英語に親しめる環境を提供できる見込みがあるか。	10
9. 効果の検証体制	児童・生徒の英語コミュニケーション能力の測定方法等のノウハウをもっているか。また、効果測定の結果が定量的、定性的に第三者へ説明できる資料となりうるか。	10
10. 独自の提案事項	その他、提案内容に優れた内容が含まれているか。	10
11. 経費	事業の積算に係る単価や経費が妥当であり、業務の提案内容と整合性が取れているか。	5
合計		100